

食と経済を考える系列では 社会人基礎力、情報活用・処理能力を身につけます

食と経済を考える系列とは(愛称:経済)

食料の生産・加工・流通・販売に至るフードシステムについて学ぶとともに、情報処理や簿記の習得を目指します！

興陽高校で唯一の複数教科（農業・商業・情報）から成る系列で、様々な視点から物事を考える能力が身に付きます！



企画力

社会人基礎力とは

「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」のこと。

プレゼン力



以下、経済産業省【社会人基礎力関係のフリー素材】より

『前に踏み出す力 (Action)』

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動できるようにすることが求められる。

『考え抜く力 (Thinking)』

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

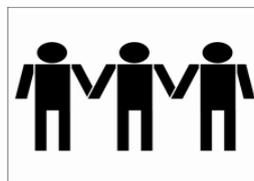
創造力

新しい価値を生み出す力

論理的に答えを出すこと以上に、自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力が求められる。

『チームで働く力 (Teamwork)』

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや相手の立場を理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

グループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々との繋がりや協働を生み出す力が求められる。

情報活用能力



商品開発



取得可能な資格

【全国商業高等学校協会】

- ・ビジネス文書実務検定
- ・情報処理検定
- ・ビジネス計算実務検定
- ・簿記実務検定

【日本情報処理検定協会】

- ・日本語ワープロ検定
- ・情報処理技能検定
- ・文書デザイン検定
- ・プレゼンテーション作成検定

令和4・5・6年度進路先

【進学】高崎経済大学、前橋国際大学、高崎商科大学、関東学園大学、上武大学・千葉商科大学、埼玉工業大学、立正大学、新島学園短期大学部、埼玉大学短期大学、中央情報経理専門学校、など

【就職】JR東日本、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、小倉クラッチ、みまつ食品、日本梱包運輸倉庫、熊谷消防本部、日発運輸株式会社、島田工業株式会社、富士スバル株式会社など